

平成 25 年度 地域猫活動実施報告書



鶴ヶ丘東町会
内灘町環境安全課

【 目 次 】

1. T N R実施期間
2. 実施地区別のT N Rおよび活動状況
3. 問題点
4. 鶴ヶ丘東町会における今後の取組みについて
5. 町が行う今後の活動内容について

◆添付書類

- * H25 年度『地域猫リスト』
- * H25 年度地域猫活動レポート（回覧用）
- * H25 年度町内で遺棄及び保護された子猫に関する報告書

1. TNR*実施期間

- 7月初旬／「捕獲器設置」の周知チラシ配布

[7月6日～9月30日 第1回捕獲器設置期間]

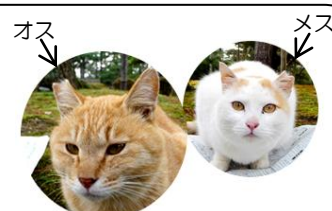
- 10月初旬／「捕獲器設置延長」の周知チラシ回覧

[10月1日～H26 3月31日 第2回捕獲器設置期間]

用語解説

※TNRとは、

Trap (トラップ／捕獲器などで捕まえて、)
 Neuter (ニューター／避妊・去勢手術をして、)
 Return (リターン／もとの場所に戻す。)
 の頭文字を取った用語です。



★手術済の猫を識別するために、
 耳先を小さくカットします。

2. 実施地区別のTNRおよび活動状況

▼ 各実施地区のTNR状況 (平成26年2月1日現在)

実施地区	TNR予定頭数および追加頭数(匹)			TNR完了頭数(匹)		TNR完了分 手術費	残頭数 (未手術頭数-取消頭数)		
	オス	メス	不明	オス	メス		オス	メス	不明
2丁目I	7	5	3	1	4	46,000円	4	1	3
							(※他地区で2匹手術完了)		
2丁目M	3	2	5	2	3	41,000円	-	-	4
							(※他地区で1匹重複)		
3丁目	4	10	-	4	8	102,000円	-	1	-
							(※高齢猫の為1匹中止)		
合計	14	17	8	7	15	189,000円	4	2	7

* H25年度手術費内訳…町会費：54,000円+町交付金：50,000円+NPO助成金：75,000円
 +寄付金：10,000円

- 2丁目I…活動ボランティア1名

当初登録した対象猫は9匹だったが、途中6匹(成猫2匹、子猫4匹)を追加登録した。TNRが完了したのは5匹で、そのうちのメス猫3匹は全て子育て中だったが、

授乳期間が終わり手術可能となった母猫から随時手術を行った。子猫は全部で7匹いたが、譲渡したのは3匹で、残り4匹は地域猫対象とした。また、当初登録した猫のうち、2匹は別の活動地区（鶴3、大根布8）で手術が完了した。その結果、来年度TNRが必要な猫は、8匹となった。

● 2丁目M…活動ボランティア1名

当初登録した対象猫は4匹だったが、途中子猫6匹(5匹+1匹)を追加登録した。TNRが完了したのは5匹。そのうちのメス猫1匹が子猫5匹を出産済みであったが、6か月後の10月以降TNRを実施し、現在2匹の子猫が手術済みである。追加登録には別の地区からきた子猫1匹も含まれている。さらに、当初登録の猫のうち1匹が「2丁目I」の登録と重複していたので対象外とした。その結果、来年度TNRが必要な猫は、追加登録の子猫4匹となった。

● 3丁目…活動ボランティア1名

当初登録した対象猫14匹のうち、TNRが完了したのは12匹。8月9日、活動地区近隣宅の屋根裏で、生後10日前後の子猫2匹が保護されたが、おそらく当時未手術だった母猫が育児放棄したと思われる。子猫2匹は譲渡が完了した。母猫もその後手術が完了した。未手術の2匹の猫のうち、1匹は高齢である為、手術は必要ないと判断し、残りメス猫1匹を来年度TNR予定である。

年度途中、餌やり場所の移転を余儀なくされ、現在は*****に猫ハウスを作り、管理している。その際、14匹中10匹の移住が確認されたが、残り4匹は現在生息が不明である。

(▼H25年11月撮影)

※猫ハウスの制作については、向栗崎在住のI様にご協力をいただきました。



3. 問題点

▲活動ボランティアさんに対する周辺住民の理解と迷惑防止対策について。

- ・餌やりは配慮して実施しているが、トイレの管理を徹底するのは難しい。極力迷惑が掛からないように注意しているが、周辺住民の理解もある程度必要となる。猫のふん尿等で迷惑している人には侵入防止対策等の協力をお願いする。

▲活動ボランティアさんの個人負担について。

- ・もともとの餌やりさんについては継続して餌やりを続けてもらうので、個人負担は了解してもらっているが、今回新たに活動ボランティアになっていただいた方の個人負担について検討が必要である。

(参考)【餌代の算出】1匹あたりの年間の餌代(ドライフードの場合)

- 年間の餌の量 : 約 0.1kg/日×365 日 ≒ 36.5 kg
- 年間の餌代 : 7kg 入り約 1,500 円×6 袋 = 9,000 円

▲活動ボランティアさんの確保について。

現在、鶴ヶ丘3丁目の地域猫を移住させた * * * * * での餌やり等の管理については、活動ボランティアさん2名で行っているが、うち1名の方は自宅敷地での活動と並行して行っていただいております、負担が大きくなっている。

4. 鶴ヶ丘東町会における今後の取り組みについて

●TNR が未だ終わっていない猫に引き続き TNR の実施。

今年度2、3丁目で活動を実施した結果、9月以降、猫の苦情は寄せられていない。特に子猫については、活動地区で“秋子”の出産が確認されなかったため、TNRの成果が出ていると思われる。しかし、1匹でもTNR未実施の猫がいれば、再度増える可能性が高いので、継続してTNRをすることが必要である。

●現在の活動ボランティアさんに加え、新たなボランティアさん探し。

現在2丁目M地区の活動ボランティアさんは、* * * * * での餌やりも兼任しているため、かなり負担が大きい。できればあと2名ボランティアを募り、朝夕各2

名がローテーションを組む等、町会内での仕組み作りが必要である。

●地域の取組みとして認知度を高める。

多くの人に参加する行事等で活動の広報を兼ねたバザーや募金等を行えば、住民の活動に対する関心や認知度が高まると同時に、今後活動に必要なであろう猫の手術代や餌代等の資金も集まる。



【参考：東京都船橋区地域猫バザー風景】

5. 町が行う今後の活動内容について

★『活動レポート』の回覧

活動の経過報告を作成し回覧する。内容は、手術済みの猫の数や写真、これからの活動予定など。地域猫活動は5年から10年続く活動なので、最低1年に1回は『活動レポート』を作成し、近隣住民に周知する。

★『ねこなんでも相談会』の開催

『ねこなんでも相談会』と題し、猫で困っている人も、猫を助けたいと思っている人も集まるような相談会を行い、地域猫セミナーや相談会の時間を設け、地域猫の認知度を上げつつ、ボランティアも募集する。



【参考：東京都新宿区保健所主催の相談会風景】
保健職員とボランティアの相談員が、近隣の住民から猫にまつわる様々な悩みや相談を伺います。